

<講演概略/講師略歴>

『企業経営を左右する環境リスク』

講演概略

気候変動、生物多様性、廃棄物などの環境問題がいかに関係企業業績に直結する要因になっているかを整理。欧州の最新環境政策のインパクトや環境債務開示制度化の動向にも言及。

講師略歴

足達 英一郎氏（株式会社日本総合研究所 ESGリサーチセンター長 上席主任研究員）

1986年一橋大学経済学部卒業。金融機関に対し社会的責任投資のための企業情報提供を担当。環境経営とCSRの視点からの産業調査、企業調査を専門とする。

経済同友会社会的責任経営推進委員会ワーキンググループメンバー(02～04・06年度)。

ISO /TMB社会的責任に関するワーキンググループ日本エキスパート(現任)。

厚生労働省労働に関するCSR推進研究会委員(現任)。

アジア太平洋持続可能な消費と生産円卓会議運営理事(現任)。

【主な著書(いずれも共著)】

「図解 企業のための環境問題」(1999年、東洋経済新報社)

「CSR経営とSRI」(2004年、きんざい)

「SRIと新しい企業・金融」(2007年、東洋経済新報社)

『気候変動問題と京都議定書』

講師略歴

小林 光 氏（環境省 大臣官房長）

1949年東京都生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。1973年環境庁(当時)入庁後、主に環境と経済、環境のための計画、地球環境等にかかわる諸課題を担当。1995年以降は、同庁地球環境部環境保全対策課長として、気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)の日本への誘致、同条約の京都議定書の国際交渉、我が国初の地球温暖化防止法制(地球温暖化対策推進法)の国会提出などを担当した。環境管理局長、地球環境局長などを経て、2006年9月より環境省大臣官房長。この間、省外では、パリ大学都市研究所に留学。北九州市産業廃棄物課長、米国東西センター客員研究員なども歴任。大阪大学大学院、東京大学大学院の客員教授なども併任し、講義を担当。著書に『日本の公害経験』、『エコハウス私論』など。

【パネル討論】 ～気候変動問題と金融機関の役割

1. 概 略

気候変動問題に対する官公庁、民間等の取り組みを題材に、気候変動問題と金融機関と金融機関の役割についてディスカッションを行う（なお、事前に会場より質問を受け付け予定）。

2. パネリスト略歴

●近藤 亮太 氏（環境省 地球環境局地球温暖化対策課課長補佐）

1998年東京大学教養学部を卒業、専攻は環境社会学。

同年環境庁（当時）に入庁、以後PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）の施行準備、環境教育の推進、NPO、企業、市民、自治体等社会のさまざまな主体による環境保全活動の促進等を担当。2003年夏から2年間、米国シラキュース大学・ニューヨーク州立大学に留学。

帰国後、地球環境局地球温暖化対策課にて京都メカニズム等を担当。具体的には、同課にて、2006年通常国会に提出された、京都メカニズムクレジット・国別登録簿の関連規定の追加を内容とする地球温暖化対策推進法の改正、開発ニーズと温暖化対策を同時に実現できる共通の活動分野に焦点を当てる、コベネフィッツ（相乗便益）の推進、民間企業によるクリーン開発メカニズム（CDM）等の実施の促進等を担当している。

●本郷 尚 氏（国際協力銀行 特命審議役 環境ビジネス支援室長）

1981年、日本輸出入銀行に入行、中東アフリカ担当課長、環境審査室課長、フランクフルト首席駐在員などを歴任。

地球温暖化ガス削減プロジェクトに対する支援に加え、需要管理型CDM、グリーン投資スキーム、適応に対する市場メカニズム活用などの新分野開拓に取り組む。

グローブG8+5気候変動ダイアログ国際アドバイザーボードメンバー。アジア太平洋パートナーシップに金融専門家として関与。Carbon Expo、Carbon Market Insights、UNEP、UNIDOなど国連関連の会議、エネルギー効率化・再生可能エネルギー関連会議など、多くの国際会議で発表。JBICのCO2キャラバンを主催。

2006年10月に設立の初代環境ビジネス支援室長を務める（現職）。

●岡元 隆治 氏（TBS 総務局長）

東京放送総務局長

1974年TBS入社

社会部記者、政治部記者、TBSワシントン特派員など現場記者を経験したのち、夕方ニュース番組の編集長、外信部長、報道局長を歴任。

2005年からTBS総務局長（現任）

●内田 肇 氏（ブラジル三井住友銀行 地球環境部部長）

1966年、香港生まれ。1970年～1979年までの9年間をブラジル・サンパウロで過ごす

1990年、中央大学法学部卒、同年三井住友銀行入行

1990年～2001年 企業取引担当、この間1994年～1995年にはスペイン語学研修生としてスペイン・マドリッドへ

2001年3月、ブラジル三井住友銀行へ異動、ブラジル進出した日系企業を担当、
2003年3月、日系企業グループ 部長就任、CDM案件開発を開始、
2007年1月、地球環境部創設、CDMビジネスに特化、現在に至る。

日系企業グループ 部長就任後、排出権購入需要のある日本企業に対してブラジルのCDM案件情報を発掘、紹介するビジネスを開始。2007年1月に地球環境部を創設。ブラジルにおいて地場銀行・環境コンサル・第三者指定運営機関（DOE）・政府科学技術省（DNA）と提携しつつ、ブラジル各地のCDM事業者を対象に特にファイナンス面からのアドバイスをを行っている。

同時にブラジルのCDM事業者を対象にしたセミナーにおける講演活動も積極的に行っており、現地における一層の情報収集・ネットワークの構築と個々の案件の検証ノウハウ・知見の向上を進めている。最近の主な講演・出演は以下の通り

- 2005年12月：地場TV局・連邦政府鉱山エネルギー省共催CDMセミナー（サンパウロ）
- 2006年2月： サンパウロ州政府主催CDMセミナー「サンパウロフォーラム」（サンパウロ）
- 2006年3月： カーボンマーケットアメリカ（リオデジヤネイロ）
- 2006年4月： 第三者指定運営機関（DOE）BRTUV主催CDMセミナー（サンパウロ）
- 2006年5月： サンパウロ日本商工会議所CDMセミナー（サンパウロ）
- 2006年6月： サンパウロ州立大学CDMセミナー（サンパウロ）
- 2006年11月： ブラジル商品先物取引市場（BM&F）主催CDMセミナー（サンパウロ）
- 2007年1月： 地場TV局環境番組「Biosfera（環境市場）」出演
- 2007年3月： ブラジル証券監視委員会（CVM）主催CDMセミナー（リオデジヤネイロ）
- 2007年4月： カーボンマーケットアメリカ（リオデジヤネイロ）～ 議長進行役を務める